

高感度、高再現性、低バックライトノイズ

cDNA、オリゴ、タンパク質用マイクロアレイを販売開始

エレクトロニクス専門商社の丸文株式会社（社長：佐藤敬司、本社：東京都中央区、資本金：62億1,450万円）は、バイオ分野の米国ベンチャーFull Moon Biosystems, Inc.（フルムーンバイオシステムズ、以下：FMB社）と日本国内における販売代理店契約を締結し、同社のcDNA、オリゴ、タンパク質用マイクロアレイ「Power Matrix Slide」の販売を開始しましたのでお知らせいたします。

<Power Matrix Slideの概要>

マイクロアレイは、創薬研究、疾病の診断法や予防法の研究、遺伝子の発現や変異、多型性などの同時解析に非常に有用な技術として多くの研究機関・医療機関・製薬企業で利用されております。しかし従来のcDNAマイクロアレイ、オリゴマイクロアレイにおいては、各スポットにおける再現性、固定量のバラツキや、クロスハイブリダイゼーションなどの問題点が指摘されています。FMB社「Power Matrix Slide」は、ガラススライドの材質、クリーニングプロセス、3次元構造のコーティング材質およびコーティングプロセスを開発することにより従来の問題点を改善し、再現性、信頼性、高感受性を実現したマイクロアレイです。

特に表面コーティングにおいては、同社独自に開発したポリマーを極薄（厚さ177nm）にコーティングすることによって、cDNA、オリゴ、タンパク質と強力に結びつき、より強度の強い固定化を実現しました。またキャリブレーション用スライドも取り揃えおり、米国マイクロアレイスキャナーメーカー全てに対応しております。

<Power Matrix Slideの主な特長>

- ・ 独自開発の3次元マトリクス構造のコーティングによる、生体分子との強力な固定接着性、安定した発現信号解析性
- ・ 独自開発の多機能官能基による、強力な固着特性かつ蛍光観察の支障とならないよう低蛍光性（バックグラウンド）
- ・ 表面ガラスの均一性・安定性
- ・ 高い湿度環境においても安定的なスライド特性（70%の湿度状態で7日間変性しません）

<Power Matrix Slideの主な用途分野>

- ・ 遺伝子発現、SNPs研究、タンパク質研究
- ・ 各種生体分子に関するマイクロアレイ実験

<価格>

1枚2千円で販売し、初年（2003年）度5000万円の販売を見込んでおります。

<Full Moon BioSystems, Inc. について>

本 社 : 米国カリフォルニア州

設 立 : 2001 年

代表者 : Youxiang Wang (ヤキヤング・ワング) , Ph. D. CEO

従業員 : 15 名

事業概要 : 研究開発向けマイクロアレイの製造販売。日本を含めすでに世界 10 カ国に販売の実績をもつ。

FMB社の詳細については、www.fullmoonbio.com をご覧ください。

<丸文株式会社について>

本 社 : 東京都中央区日本橋大伝馬町 8-1

設 立 : 1947 年

代表者 : 代表取締役社長 佐藤敬司

従業員 : 932 名 (2003 年 4 月現在)

資本金 : 62 億 1,450 万円

売上高 : 1,381 億円 (2002 年 3 月期連結)

事業概要 : 集積回路を中心とした半導体、電子応用機器など、国内外の最先端エレクトロニクス製品を販売する専門商社。産業や理化学分野向けのシステム機器を扱うシステムカンパニーでは、新規ビジネスとして 2002 年度からバイオ市場向け製品の取扱いを開始し、これまで、マイクロアレイ解析ソフトウェア (ASP)、タンパク質機能構造解析装置を販売しております。

東京証券取引上市場第 1 部に上場。(コード番号 : 7537)

丸文株式会社の詳細については、www.marubun.co.jp をご覧ください。

この製品に関するお問い合わせ先

丸文株式会社 システムカンパニー システム企画開発室

担 当 : 中村 (ナカムラ)

東京都中央区日本橋大伝馬町 8-1 〒103-8577

TEL : 03-3639-9805

FAX : 03-3639-2358

E-mail : tokuo@marubun.co.jp

このニュースリリースに関するお問い合わせ先

丸文株式会社 広報室

担 当 : 喜多 (キタ)

東京都中央区日本橋大伝馬町 8-1 〒103-8577

TEL : 03-3639-9803

FAX : 03-5644-7693

E-mail : kitakita@marubun.co.jp

参 考

第 2 回国際バイオ Expo 出展について

丸文株式会社では、5月14日（水）-16日（金）に、東京ビックサイトにおいて開催される、リードエグジビションジャパン主催「第2回国際バイオ Expo」に出展し、Full Moon Biosystems 社「Power Matrix Slide」をはじめ当社バイオ市場向け取扱製品を展示する予定です。

（ブース：東京ビックサイト 東4ホール No.36-4）

ご興味のあるマスコミの皆さま方は、下記問い合わせ先までご連絡ください。招待券をお送りいたします。

展示予定製品

Full Moon Biosystems 社：cDNA、オリゴ、タンパク質用マイクロアレイ「Power Matrix Slide」

FarField Sensors 社：生体分子間相互作用解析装置 AnaLight Bio200

Vizlabs 社：Web ベース DNA チップ解析ソフト

ユニハイトシステム社：小型 X 線 CT システム Presto シリーズ

JDS Uniphase 社：空冷 Ar レーザシステム・HeNe レーザ・CW-DPSS レーザ発振器・パルス DPSS レーザ発振器・高出力半導体レーザー

Blue Sky Research 社：405nm ファイバー付き LD モジュール

第 2 回国際バイオ Expo 出展に関するお問い合わせ先

丸文株式会社 広報室

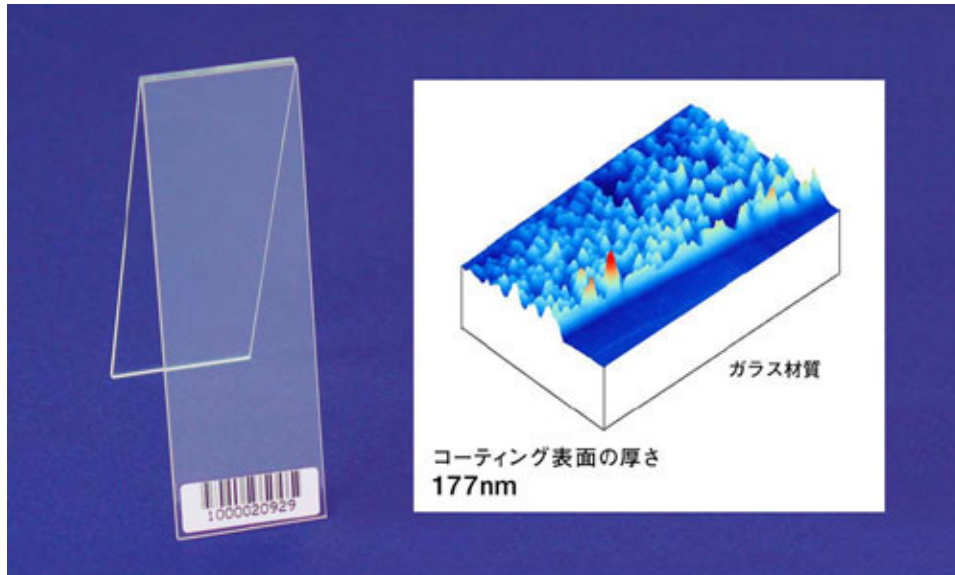
担 当：喜多（キタ）

東京都中央区日本橋大伝馬町 8-1 〒103-8577

TEL:03-3639-9803

FAX:03-5644-7693

E-mail:kitakita@marubun.co.jp



米国Full Moon BioSystems社 cDNA・オリゴ・タンパク質用マイクロアレイ
「Power Matrix Slide」と生体分子と特異的結合するようにコーティングされた3次元多孔質表面